平成２６年度
北秋田市教育委員会
点検・評価報告書

平成２７年１０月

北秋田市教育委員会

本報告書は、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民への説明責任を果たしていくために、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条の規定に基づき、平成26年度の教育委員会の点検及び評価を行い、これを議会に提出するとともに、公表するものです。

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条　教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第１項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第４項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

２　教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

北秋田市教育委員会委員名簿

（平成27年３月31日現在）

職　　名	氏　　名
委　　員　　長	加　賀　隆　寛
委員長職務代理者	佐　藤　正　俊
委　　員	吉　田　美　樹
委　　員	小　林　　真
委員兼教育長	三　澤　　仁

教育に関する事務の管理及び執行の点検及び評価

点検及び評価の対象年度：平成26年度

＜構成内容＞

１　教育委員会の会議開催状況・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ３

２　教育委員会の会議審議状況・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ３

○平成26年度　教育委員会審議案件一覧
（１）　平成26年度　議案案件
（２）　平成26年度　報告案件
（３）　平成26年度　その他案件

３　教育事務の点検評価書【総合点検・評価】・・・・・・・・・Ｐ６

４　主要事業点検・評価票　・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ７
【点検・評価対象事業一覧】
【事業個別点検・評価票】

１　教育委員会の会議開催状況

教育委員会議については、原則として毎月１回の「教育委員会定例会」と、状況に応じた「教育委員会臨時会」を開催している。平成26年度は、合計で14回開催した。

（１）　教育委員会定例会・・・12回

（２）　教育委員会臨時会・・・２回

２　教育委員会の会議審議状況

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第25条及び北秋田市教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則（平成17年教育委員会規則第６号）第２条の規定に基づき、平成26年度は合計で52件について審議した。

＜平成26年度　教育委員会審議案件一覧＞

（１）　平成26年度　議案案件

議案番号	件　　名	提出年月日
H26年 14	北秋田市子ども読書活動推進計画について	H26.4.24
15	北秋田市スポーツ振興基本計画について	H26.4.24
16	北秋田市教育委員会教育委員長の選挙について	H26.5.14
17	北秋田市教育委員会教育委員長職務代理者の指定について	H26.5.14
18	工事請負契約の締結について（学校給食センター建設工事）	H26.5.14
19	財産の取得について（伊勢堂岱遺跡ガイダンス施設等建設用地）	H26.5.14
20	北秋田市児童生徒就学援助費支給要綱の一部を改正する要綱の制定について	H26.5.29
21	北秋田市スポーツ少年団大会派遣費補助金交付要綱について	H26.5.29
22	北秋田市スポーツ少年団大会派遣費補助金取扱要領の制定について	H26.5.29
23	工事請負契約の締結について（鷹巣陸上競技場トラック改修工事）	H26.5.29
24	工事請負契約の締結について（伊勢堂岱遺跡ガイダンス施設新築工事）	H26.6.26
25	北秋田市立学校遠距離通学児童生徒スクールバス及びスクールタクシー利用要綱の一部を改正する要綱の制定について	H26.7.31
26	北秋田市教育委員会情報公開規則の一部を改正する規則の制定について	H26.8.28

議案番号	件　　名	提出年月日
27	北秋田市教育委員会個人情報保護規則の一部を改正する規則の制定について	H26.8.28
28	財産の取得について（厨房機器及び備品）	H26.9.25
29	工事請負契約の締結について（(仮称）北秋田市生涯学習交流施設建設工事）	H26.9.25
30	北秋田市奨学資金貸付条例の一部を改正する条例の制定について	H26.10.30
31	教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価について	H26.10.30
32	北秋田市民プールの指定管理者の指定について	H26.11.27
33	北秋田市営薬師山スキー場の指定管理者の指定について	H26.11.27
H27年　1	北秋田市学校給食センター条例の一部を改正する条例の制定について	H27.1.29
2	北秋田市招致外国青年の給料及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	H27.1.29
3	北秋田市放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例の制定について	H27.1.29
4	北秋田市図書館管理規則の一部を改正する規則の制定について	H27.1.29
5	北秋田市公民館図書室管理規則の一部を改正する規則の制定について	H27.1.29
6	北秋田市立学校遠距離通学児童生徒スクールバス及びスクールタクシー利用要綱の一部を改正する要綱の制定について	H27.1.29
7	北秋田市体育施設管理規則の一部を改正する規則の制定について	H27.2.26
8	北秋田市体育館管理規則の一部を改正する規則の制定について	H27.2.26
9	県費負担教職員の内申について	H27.3.4
10	地方教育行政の組織及び運営に関する法律の施行に伴う関係教育委員会規則の整理に関する規則の制定について	H27.3.26
11	北秋田市公民館非常勤館長の任命について	H27.3.26
12	北秋田市社会教育委員の委嘱について	H27.3.26
13	北秋田市公民館運営審議委員の委嘱について	H27.3.26
14	北秋田市生涯学習奨励員の委嘱について	H27.3.26
15	北秋田市図書館協議会委員の委嘱について	H27.3.26
16	北秋田市文化会館運営委員会委員の委嘱について	H27.3.26
17	北秋田市浜辺の歌音楽館運営審議会委員の委嘱について	H27.3.26
18	北秋田市文化財保護審議委員の委嘱について	H27.3.26

議案番号	件　　名	提出年月日
19	北秋田市スポーツ推進審議会委員の任命について	H27.3.26
20	北秋田市スポーツ推進委員の委嘱について	H27.3.26

※　議案番号は、暦年による一連番号を記載。

（２）　平成26年度　報告案件

番号	件　　名	提出年月日
H26年　1	専決処分の報告について（議決を経た工事請負契約の契約金額を変更することについて（鷹巣陸上競技場トラック改修工事））	H26.11.27
H27年　1	専決処分の報告について（議決を経た工事請負契約の契約金額を変更することについて（伊勢堂岱遺跡ガイダンス施設新築工事））	H27.2.26

（３）　平成26年度　その他案件

番号	件　　名	提出年月日
1	平成26年度教育委員会機構図及び各課の事務分担について	H26.4.24
2	小中学校の運動会の日程について	H26.4.24
3	６月定例議会提出平成26年度一般会計補正予算（第２号）について	H26.6.26
4	教育委員会事務局人事異動について	H26.8.28
5	９月定例議会提出平成26年度一般会計補正予算（第３号）について	H26.9.25
6	12月定例議会提出平成26年度一般会計補正予算（第５号）について	H26.12.25
7	市立小中学校入学式の日程について	H27.3.26
8	３月定例議会提出平成26年度一般会計補正予算（第７号）について	H27.3.26
9	平成27年度当初予算について	H27.3.26
10	平成 27 年度教育委員会事務局　人事異動について	H27.3.26

３　教育事務の点検評価書【総合点検・評価】

平成 26 年度における教育委員会の当初予算は 52 億 9,729 万 4 千円であったが、3,608 万円の減額補正となった。これに継続費及び繰越事業費等の 10 億 4,272 万円を合わせて、予算合計が 63 億 394 万 1 千円となっている。これは、前年度予算と比較して 25 億 963 万 1 千円増加している。また、一般会計に占める教育費の割合は約 23%で、前年度に比べ約９％増加している。教育費が例年に比べ大幅に増加した主な要因としては「合川小学校校舎等建設事業」「(仮称) 生涯学習交流施設建設事業」「伊勢堂遺跡ガイダンス施設建設事業」「学校給食センター建設事業」等、大規模な建物建設事業が多数集中したことが挙げられる。

平成 26 年度における教育委員会の主要施策についての個別点検・評価については、次頁以降に示している 70 事業において実施した。各事業の採点による点検・評価結果の概要は次のとおりである。

「有効性」については、「あきたリフレッシュ学園事業」「小中学校校舎等内外改修補修事業」等、７事業において期待以上の成果が得られたと評価された。

「費用対効果」については、「外国青年招致事業」「小中学校校舎等内外改修補修事業」等、４事業において期待以上の成果が得られたと評価された。

「必要性」については、46 事業が「必要不可欠」と評価され、全体の 65.7%を占めた。

「方向性」については、「学校生活サポート事業」「縄文まつり開催事業」等６事業において「今後も事業を拡大すべき」と評価された。また、６事業において「廃止・休止」と評価されているが、これらは単年度実施事業または当初から本年度で事業終了予定であったものである。

これら点検・評価の対象となっている事業は大きく２種類に分けられる。１つは「合川小学校校舎等建設事業」「鷹巣陸上競技場トラック改修工事事業」等の、緊急に行う必要がある事業。これに対し、もう一方は「スクールバス運行事業」「各地区公民館管理事業」等、利用者のために毎年度実施している事業である。今後、人口減少・児童生徒の減少が予想される中、これら教育委員会が多数実施している「必要不可欠」な事業を、限られた予算で高い成果を上げることができるよう、事業内容を精査し、より良い事業になるよう取り組んでいくことが課題である。

また、市民に広く呼びかけて実施しているイベント「チャレンジデー２０１４」では、初参加の前年度より 7,919 人多い 1 万 6,167 人が参加し、参加率は 45.7%となった。この結果、対戦相手の岡山県備前市には及ばず敗れはしたものの、自治会や各団体を通じ、広く市民に声掛けを行った結果、前年度に比べ大幅な参加率アップを記録することができた。

平成 27 年度からの地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正に伴い、教育委員会制度が大きく改正された。「総合教育会議の設置」「新教育長制度」等、我が国の「教育」が大きな転換期を迎えている。そんな中、北秋田市教育委員会としても、子どもから高齢者まで、文化・スポーツ等幅広い分野における「北秋田市の教育」の発展に努めていきたい。

平成２７年１０月

北秋田市教育委員会

４　主要事業点検・評価票

【点検・評価対象事業一覧】

●総務課

No.	事業名	No.	事業名
1	あきたリフレッシュ学園事業	5	小学校校舎等内外改修補修事業
2	小学校パソコン導入事業	6	中学校校舎等内外改修補修事業
3	中学校パソコン導入事業	7	学校給食センター建設事業
4	合川小学校建設事業	8	学校給食センター運営事業

●学校教育課

No.	事業名	No.	事業名
9	学校救急体制整備事業	17	中学校備品整備事業
10	学校生活サポート事業（特別支援）	18	総合学習補助事業
11	学校保健事業	19	児童生徒大会派遣費補助事業
12	外国青年招致事業	20	教育センター事業
13	学校安全整備事業	21	不登校児童生徒対策事業
14	遠距離通学費補助事業	22	要保護及び準要保護児童生徒援助費補助事業及び特別支援教育就学奨励費補助事業
15	スクールバス運行事業	23	学校評議員制度推進事業
16	小学校備品整備事業	24	中学校楽器整備事業

●生涯学習課

No.	事業名	No.	事業名
25	少子化対策・子育て支援事業	43	学童保育施設整備事業
26	（仮称）生涯学習交流施設建設事業	44	放課後児童健全育成事業
27	高齢者教育事業	45	放課後子ども教室推進事業
28	婦人学級開設事業	46	学校支援地域本部事業
29	新成人事業	47	青少年育成事業
30	日本語教室開催事業	48	文化会館管理事業
31	公民館を中心とした社会教育活性化支援事業	49	文化会館改修事業
32	子どもふるさと交流支援事業	50	みちのく子ども風土記館管理事業
33	公民館講座開設事業	51	浜辺の歌音楽祭開催事業
34	花いっぱい運動推進事業	52	浜辺の歌音楽館運営事業
35	農林業振興センター（鷹巣地区公民館）管理事業	53	文化祭開催事業
36	陶芸ハウス管理事業	54	根子番楽伝承館トイレ設置工事事業
37	あいターミナル管理運営事業	55	史跡伊勢堂岱遺跡環境整備事業
38	農村環境改善センター（合川公民館）管理事業	56	胡桃館遺跡埋蔵資料館管理事業
39	コミュニティセンター（森吉公民館）管理事業	57	伊勢堂岱遺跡世界遺産登録推進事業
40	ふるさと文化センター（阿仁公民館）管理事業	58	文化財保護事業
41	交流センター管理事業	59	縄文まつり開催事業
42	図書館事業	60	北秋田市民俗芸能大会事業

●スポーツ振興課

No.	事業名	No.	事業名
61	合川野球場スコアボード判定表示板改修工事事業	66	薬師山スキー場指定管理事業
62	鷹巣陸上競技場管理棟・観覧席改修工事事業	67	北秋田市体育協会補助金事業
63	鷹巣陸上競技場トラック改修工事事業	68	北秋田市スキー大会補助金事業
64	鷹巣体育館非常照明用直流電源装置取替修繕事業	69	100 キロチャレンジマラソン大会補助金事業
65	北秋田市民プール指定管理事業	70	児童大会派遣費補助金事業

【事業個別点検・評価票】

有効性・・・・・１＝期待以下の成果　２＝期待どおりの成果　３＝期待以上の成果
費用対効果・・・１＝課題あり　２＝予定どおりの費用対効果　３＝予想以上の費用対効果
必要性・・・・・１＝必要性が低い　２＝必要性が高い　３＝必要不可欠
方向性・・・・・１＝廃止・休止　２＝縮小　３＝統合　４＝継続　５＝拡大

<table>
<tr><td colspan="2">1　あきたリフレッシュ学園事業</td><td colspan="2">主 管 課</td><td colspan="2">総務課</td></tr>
<tr><td rowspan="2">決算額</td><td rowspan="2">10,249 千円</td><td>有効性</td><td>費用対効果</td><td>必要性</td><td>方向性</td></tr>
<tr><td>3</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td></tr>
<tr><td>活 動 内 容</td><td colspan="5">北秋田市内・市外在住を問わず、人間関係の悩みやストレスを抱え、心の問題に悩む全国の子どもたちを対象に、自然体験や物作り体験など、さまざまな体験活動を通して心と体のリフレッシュを図る機会を提供する。</td></tr>
<tr><td>点検・評価</td><td colspan="5">今年度は19人の小・中学生が202日間利用した。
在園した児童・生徒の中には学校復帰や学校と学園を行き来できるようになっている子どももおり、学園の存在意義は高い。
北秋田市の「さわやか教室」や市内各学校との連携も図りながら、事業を展開していくことが必要である。
また、本事業は秋田県からの委託事業として実施しているが、平成28年度以降は北秋田市が単独で事業運営していくための方策を模索中である。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="2">2　小学校パソコン導入事業</td><td colspan="2">主 管 課</td><td colspan="2">総務課</td></tr>
<tr><td rowspan="2">決算額</td><td>（賃借料）36,063 千円</td><td>有効性</td><td>費用対効果</td><td>必要性</td><td>方向性</td></tr>
<tr><td>（保守料）10,617 千円</td><td>2</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td></tr>
<tr><td>活 動 内 容</td><td colspan="5">パソコン及び周辺機器の導入により、多様化するニーズ及び校務処理に対応する環境を整備する。</td></tr>
<tr><td>点検・評価</td><td colspan="5">パソコンの保守管理については、専門業者に委託する事により、スムーズなパソコン修理・障害対応が行われ、セキュリティーの向上も図られた。
平成26年度から複数年かけて北秋田市内の全小・中学校にタブレット型パソコンの導入を予定しており、平成26年度は３校に導入した。今後もコンピュータ機器を活用した幅広い授業展開が期待される。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="2">3　中学校パソコン導入事業</td><td colspan="2">主 管 課</td><td colspan="2">総務課</td></tr>
<tr><td rowspan="2">決算額</td><td rowspan="2">（賃借料）14,792 千円
（保守料）　4,286 千円</td><td>有効性</td><td>費用対効果</td><td>必要性</td><td>方向性</td></tr>
<tr><td>2</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td></tr>
<tr><td>活 動 内 容</td><td colspan="5">パソコン及び周辺機器の導入により、多様化するニーズ及び校務処理に対応する環境を整備する。</td></tr>
<tr><td>点検・評価</td><td colspan="5">パソコンの保守管理については、専門業者に委託する事により、スムーズなパソコン修理・障害対応が行われ、セキュリティーの向上も図られた。
平成26年度から複数年かけて北秋田市内の全小・中学校にタブレット型パソコンの導入を予定しており、平成26年度は２校に導入した。今後もコンピュータ機器を活用した幅広い授業展開が期待される。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="2">4　合川小学校建設事業</td><td colspan="2">主 管 課</td><td colspan="2">総務課</td></tr>
<tr><td rowspan="2">決算額</td><td rowspan="2">1,729,708 千円</td><td>有効性</td><td>費用対効果</td><td>必要性</td><td>方向性</td></tr>
<tr><td>3</td><td>2</td><td>3</td><td>1</td></tr>
<tr><td>活 動 内 容</td><td colspan="5">平成 27 年４月に合川地区の合川東小学校・合川小学校・合川北小学校の３つの小学校統合により新設される合川小学校新校舎竣工に向け、学習活動に必要な環境の整備を図った。</td></tr>
<tr><td>点検・評価</td><td colspan="5">平成26年度中の完成を目指し、学校校舎の建設及び学校周辺環境の整備を行い、予定どおり完成した。
平成26年度は、小学校校舎建設、グラウンド用具庫の建設、外構工事、駐車場の整備、小学校備品の納入、グラウンドの整備等が行われた。</td></tr>
</table>

有効性・・・・・１＝期待以下の成果　２＝期待どおりの成果　３＝期待以上の成果
費用対効果・・・１＝課題あり　２＝予定どおりの費用対効果　３＝予想以上の費用対効果
必要性・・・・・１＝必要性が低い　２＝必要性が高い　３＝必要不可欠
方向性・・・・・１＝廃止・休止　２＝縮小　３＝統合　４＝継続　５＝拡大

<table>
<tr><td rowspan="4">5</td><td colspan="3">小学校校舎等内外改修補修事業</td><td>主 管 課</td><td colspan="2">総務課</td></tr>
<tr><td rowspan="2">決算額</td><td rowspan="2">85,083 千円</td><td>有効性</td><td>費用対効果</td><td>必要性</td><td>方向性</td></tr>
<tr><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>4</td></tr>
<tr><td>活 動 内 容</td><td colspan="5">校舎等内外の改修工事等の施工により、安心で快適な学習環境の整備を図る。</td></tr>
<tr><td></td><td>点検・評価</td><td colspan="5">平成26年度は、鷹巣小学校ランチルーム屋根改修工事、阿仁合小学校管理棟屋根改修工事、阿仁合小学校教室棟床改修工事、前田小学校体育館屋根改修工事、綴子小学校暗渠復旧工事、鷹巣南小学校体育館アリーナ床ウレタン塗装改修工事等、28件の工事を実施した。
校舎や学校周辺設備等の改修については、子どもの安全を第一に考え、事案が発生した場合は出来る限り迅速に対応するようにしているが、各学校施設とも老朽化が進み、年々改修箇所件数が増加傾向にある。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="4">6</td><td colspan="3">中学校校舎等内外改修補修事業</td><td>主 管 課</td><td colspan="2">総務課</td></tr>
<tr><td rowspan="2">決算額</td><td rowspan="2">16,036 千円</td><td>有効性</td><td>費用対効果</td><td>必要性</td><td>方向性</td></tr>
<tr><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>4</td></tr>
<tr><td>活 動 内 容</td><td colspan="5">校舎等内外の改修工事等の施工により、安心で快適な学習環境の整備を図る。</td></tr>
<tr><td></td><td>点検・評価</td><td colspan="5">平成26年度は、鷹巣中学校自転車置場改修工事、鷹巣南中学校野球場補修工事、鷹巣南中学校小荷物用昇降機改修工事、森吉中学校格技場屋根改修工事、阿仁中学校緩降機改修工事等、16件の工事を実施した。
校舎や学校周辺設備等の改修については、子どもの安全を第一に考え、事案が発生した場合は出来る限り迅速に対応するようにしているが、各学校施設とも老朽化が進み、年々改修箇所件数が増加傾向にある。</td></tr>
</table>

有効性・・・・・１＝期待以下の成果　２＝期待どおりの成果　３＝期待以上の成果
費用対効果・・・１＝課題あり　２＝予定どおりの費用対効果　３＝予想以上の費用対効果
必要性・・・・・１＝必要性が低い　２＝必要性が高い　３＝必要不可欠
方向性・・・・・１＝廃止・休止　２＝縮小　３＝統合　４＝継続　５＝拡大

<table>
<tr><td colspan="2">7　学校給食センター建設事業</td><td colspan="2">主 管 課</td><td colspan="2">総務課</td></tr>
<tr><td rowspan="2">決算額</td><td rowspan="2">959,267 千円</td><td>有効性</td><td>費用対効果</td><td>必要性</td><td>方向性</td></tr>
<tr><td>2</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td></tr>
<tr><td>活 動 内 容</td><td colspan="5">平成 27 年４月の合川地区小学校統合に合わせ、合川地区・森吉地区・阿仁地区の各給食施設を一か所に集約し、新たな給食施設の設置・運営を目指したもの。</td></tr>
<tr><td>点検・評価</td><td colspan="5">平成26年度は、外構工事、学校給食センター建物が予定通り完成した。また、什器及び調理器具、給食配送車、事務用備品等についても予定通り納入が完了した。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="2">8　学校給食センター運営事業</td><td colspan="2">主 管 課</td><td colspan="2">総務課</td></tr>
<tr><td rowspan="2">決算額</td><td rowspan="2">284,341 千円</td><td>有効性</td><td>費用対効果</td><td>必要性</td><td>方向性</td></tr>
<tr><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>4</td></tr>
<tr><td>活 動 内 容</td><td colspan="5">市内各小中学校の児童、生徒に対し、給食を通じた食育を行い、健康の増進を図ることを目的として、実施している。</td></tr>
<tr><td>点検・評価</td><td colspan="5">学校教育の一環として、北秋田市内小学校13校、1,394名、中学校5校、905名及び受託事業として比内養護学校たかのす分校、74名への給食を実施した。
近年アレルギーを発症する児童、生徒が増加しているが、家庭におけるアレルギー対応等の栄養指導、助言等についても需要が増加傾向にある。
また、平成26年度に合川小学校の建築に合わせ、老朽化が進んでいた森吉地区、阿仁地区の給食施設を統合し、もりよし学校給食センターを建築し、平成27年度より供用を開始している。</td></tr>
</table>

有効性・・・・・１＝期待以下の成果　２＝期待どおりの成果　３＝期待以上の成果
費用対効果・・・１＝課題あり　２＝予定どおりの費用対効果　３＝予想以上の費用対効果
必要性・・・・・１＝必要性が低い　２＝必要性が高い　３＝必要不可欠
方向性・・・・・１＝廃止・休止　２＝縮小　３＝統合　４＝継続　５＝拡大

9　学校救急体制整備事業			主 管 課	学校教育課	
決算額	1,263 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活 動 内 容	AED（自動体外式除細動器）を各小中学校に設置及び配置することにより、万が一の事態に備え、心臓突然死の減少に繋げることを目的とする。				
点検・評価	AED（自動体外式除細動器）は市内各小中学校に配置済みである。 昨年度は、耐用期間の迫ったAED４台と使用期限の迫ったバッテリ１台を交換した。 万が一の事態に備え、事業の継続は必要である。				

10　学校生活サポート事業（特別支援）			主 管 課	学校教育課	
決算額	33,027 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		3	3	3	5
活 動 内 容	特別な教育的支援を必要とする児童生徒が在籍している学校に対し、支援員を配置し、学校生活全般にわたって対象児童生徒及び学級担任の支援を行う。				
点検・評価	平成26年度は、障害児支援において24人（15校）の支援員を配置し、生活支援や学習支援等を行った。 対象児童生徒が充実した学校生活を送ることができるほか、周囲の児童生徒や学級担任にとっても大きな成果となっている。 今後は、児童生徒の自立に向けた支援方法、進路指導の在り方についての研修の充実を図っていく必要がある。				

11　学校保健事業			主 管 課	学校教育課	
決算額	15,272 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活 動 内 容	健康診断の実施により、児童生徒及び教職員の健康の保持増進を図り、学校教育の円滑な実施に結びつける。				
点検・評価	各校において、健康診断後の事後指導も継続して行われており、学校保健安全法に基づく本事業の継続は必要である。				

有効性・・・・・１＝期待以下の成果　２＝期待どおりの成果　３＝期待以上の成果
費用対効果・・・１＝課題あり　２＝予定どおりの費用対効果　３＝予想以上の費用対効果
必要性・・・・・１＝必要性が低い　２＝必要性が高い　３＝必要不可欠
方向性・・・・・１＝廃止・休止　２＝縮小　３＝統合　４＝継続　５＝拡大

12　外国青年招致事業			主 管 課	学校教育課	
決算額	18,962 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	3	3	5
活 動 内 容	現在、市では 5 名の ALT を雇用している。 各学校への派遣は、年間授業日数の 44 週のうち、小学校に 28 週、中学校に 16 週割り当て、各学校への派遣計画を組んでいる。				
点検・評価	中学校における英語教育及び小学校における英語活動の充実、総合的な学習の時間等における国際理解教育に効果を上げている。				

13　学校安全整備事業			主 管 課	学校教育課	
決算額	229 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	2	4
活 動 内 容	子ども達が安心して登下校できるよう、安全対策として新入児童生徒に防犯ブザーを配布する。				
点検・評価	市内小学校の新入児童には他団体から防犯ブザーの寄贈があったため、平成26年度は市内５中学校新入生徒233人に対し、防犯ブザーを配布した。 万が一の安全対策として、事業の継続は必要である。				

14　遠距離通学費補助事業			主 管 課	学校教育課	
決算額	3,377 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活 動 内 容	小学校４km以上、中学校６km以上の遠距離通学者のうち、公共交通機関（路線バス）を利用することが可能な児童生徒に定期券を助成する。				
点検・評価	公共交通機関（路線バス）を使って、38人（小３校、中３校）が登下校に利用しており、児童生徒の安全確保と保護者の負担軽減が図られていることから、今後も継続が必要な事業である。				

有効性・・・・・１＝期待以下の成果　２＝期待どおりの成果　３＝期待以上の成果
費用対効果・・・１＝課題あり　２＝予定どおりの費用対効果　３＝予想以上の費用対効果
必要性・・・・・１＝必要性が低い　２＝必要性が高い　３＝必要不可欠
方向性・・・・・１＝廃止・休止　２＝縮小　３＝統合　４＝継続　５＝拡大

15　スクールバス運行事業			主 管 課	学校教育課	
決算額	45,024 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活 動 内 容	遠距離通学者の登下校の交通手段として、スクールバス及びスクールタクシーを運行することで、児童生徒の円滑な就学と安全･安心の確保に資する。				
点検・評価	直営バス９台、委託バス２台、委託スクールタクシー４台により289人（小９校、中５校）が登下校に利用しており、児童生徒の安全確保と保護者の負担軽減が図られていることから、今後も必要な事業である。 しかし、直営バスの運転手の確保や児童生徒の減少による路線の見直しなど、運行に係る諸問題も多く抱えている事業でもある。				

16　小学校備品整備事業			主 管 課	学校教育課	
決算額	9,332 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		3	2	3	5
活 動 内 容	各小学校において、教材備品、図書備品等を充実させることで、学習活動の充実を目指す。				
点検・評価	各教科等で使用する教材備品及び図書を購入することにより、児童の学習意欲と教科や学級活動の充実を図ることができた。 今後も継続しながら活力ある学校づくりに結びつける必要がある。				

17　中学校備品整備事業			主 管 課	学校教育課	
決算額	8,373 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		3	2	3	5
活 動 内 容	各中学校において、教材備品、図書備品等を充実させることで、学習活動の充実を目指す。				
点検・評価	各教科等で使用する教材備品及び図書を購入することにより、生徒の学習意欲と教科や学級活動の充実を図ることができた。 今後も継続しながら活力ある学校づくりに結びつける必要がある。				

有効性・・・・・１＝期待以下の成果　２＝期待どおりの成果　３＝期待以上の成果
費用対効果・・・１＝課題あり　２＝予定どおりの費用対効果　３＝予想以上の費用対効果
必要性・・・・・１＝必要性が低い　２＝必要性が高い　３＝必要不可欠
方向性・・・・・１＝廃止・休止　２＝縮小　３＝統合　４＝継続　５＝拡大

18　総合学習補助事業			主 管 課	学校教育課	
決算額	900 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	2	4
活 動 内 容	総合的学習時間において、それぞれの学校で特徴を活かしながら取り組んでいる。 主な内容は、農園作業、花いっぱい運動、地域との交流学習、校外学習等である。				
点検・評価	各校で行われる体験活動等に補助することで、特色ある教育活動を行うことができた。				

19　児童生徒大会派遣費補助事業			主 管 課	学校教育課	
決算額	8,415 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活 動 内 容	全県大会以上の大会に出場する児童生徒・引率者に、交通費、宿泊費及び参加料を補助し、児童生徒の知育・体育・徳育の伸長と健全育成を図る。				
点検・評価	上位大会出場という目標を持って、市内の児童生徒、学校の教職員は活動に取り組んでおり、目標達成のためには本事業は有効と思われる。				

有効性・・・・・１＝期待以下の成果　２＝期待どおりの成果　３＝期待以上の成果
費用対効果・・・１＝課題あり　２＝予定どおりの費用対効果　３＝予想以上の費用対効果
必要性・・・・・１＝必要性が低い　２＝必要性が高い　３＝必要不可欠
方向性・・・・・１＝廃止・休止　２＝縮小　３＝統合　４＝継続　５＝拡大

<table>
<tr><td colspan="2">20　教育センター事業</td><td colspan="2">主 管 課</td><td colspan="2">学校教育課</td></tr>
<tr><td rowspan="2">決算額</td><td rowspan="2">4,845 千円</td><td>有効性</td><td>費用対効果</td><td>必要性</td><td>方向性</td></tr>
<tr><td>2</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td></tr>
<tr><td>活 動 内 容</td><td colspan="5">市内小中学校の教職員の研修を計画・実施している。
また、運営として事業調査部、教職研修部、授業・教科部の専門部を設け、さらにそれぞれの部門毎に部会を設置している。
そして、市内の全ての学校の学力テストの実施も行っている。</td></tr>
<tr><td>点検・評価</td><td colspan="5">児童生徒一人一人に「自ら学び自ら考える力」、「これからの社会を主体的、創造的にたくましく生きる力」を身に付けさせるための研修を推進した。
各校のミドルリーダーとして活躍する教務主任・研究主任・生徒指導主事などが社会の変化や様々な教育課題に適切に対応することができるよう、充実した研修を計画・実施している。
また、授業研究会や学力向上対策の協議から「分かる・できる・魅力ある授業実践」に取り組み、言語活動の充実を意識した授業改善を推進するために支援している。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="2">21　不登校児童生徒対策事業</td><td colspan="2">主 管 課</td><td colspan="2">学校教育課</td></tr>
<tr><td rowspan="2">決算額</td><td rowspan="2">1,178 千円</td><td>有効性</td><td>費用対効果</td><td>必要性</td><td>方向性</td></tr>
<tr><td>2</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td></tr>
<tr><td>活 動 内 容</td><td colspan="5">市教育センター内に「北秋田さわやか教室」という不登校の児童・生徒をサポートする教室を設けている。
そこで教職経験者の指導員（非常勤職員）１人を配置し、生活支援や個別に学習支援を必要とする児童・生徒への指導を行っている。</td></tr>
<tr><td>点検・評価</td><td colspan="5">26年度は、中学生1人が通級していた。
所属校と連絡を密にし、個別指導や再登校への支援を行った。
学校からの課題プリントや英語学習を行い、徐々に学習への意欲がみられるようになった。
不登校及び不登校傾向の児童・生徒と、その保護者などへの支援を行い、学校復帰に向けて効果を上げることができた。</td></tr>
</table>

有効性・・・・・１＝期待以下の成果　２＝期待どおりの成果　３＝期待以上の成果
費用対効果・・・１＝課題あり　２＝予定どおりの費用対効果　３＝予想以上の費用対効果
必要性・・・・・１＝必要性が低い　２＝必要性が高い　３＝必要不可欠
方向性・・・・・１＝廃止・休止　２＝縮小　３＝統合　４＝継続　５＝拡大

22	要保護及び準要保護児童生徒援助費補助事業及び特別支援教育就学奨励費補助事業			主 管 課	学校教育課	
	決算額	24,757 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
			2	2	2	4
	活 動 内 容	経済的に困難な保護者や特別支援学級に就学する保護者に対し、学用品費等・医療費・学校給食費を援助することで児童生徒の就学を支援する。				
	点検・評価	平成26年度は、要保護認定者13人、準要保護認定者253人、特別支援認定者21人の児童生徒の保護者に対して、区分に応じた援助を行った。 児童生徒数が減少している中、様々な理由により事業への申請率は年々増加しており、事業の継続が強く求められている。				

23	学校評議員制度推進事業			主 管 課	学校教育課	
	決算額	335 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
			2	2	2	4
	活 動 内 容	学校・家庭・地域が連携協力しながら一体となって子どもの健やかな成長を担っていくため、地域に開かれた学校づくりをより一層推進する観点から、学校に学校評議員を置くことができることにした。 学校評議員は、校長の求めに応じ、学校運営に関し意見を述べることができる。				
	点検・評価	開かれた学校づくりを推進し、学校、保護者、地域が一体となった学校経営に資することができた。				

24	中学校楽器整備事業			主 管 課	学校教育課	
	決算額	2,597 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
			2	2	2	4
	活 動 内 容	年次計画で、各中学校（H26 年度は鷹小を含む。）における楽器を新規購入し、その整備・充実を図る。				
	点検・評価	主に吹奏楽部（鷹巣小学校においては金管バンド）の楽器を整備し、部活動の充実を図ることができた。				

有効性・・・・・１＝期待以下の成果　２＝期待どおりの成果　３＝期待以上の成果
費用対効果・・・１＝課題あり　２＝予定どおりの費用対効果　３＝予想以上の費用対効果
必要性・・・・・１＝必要性が低い　２＝必要性が高い　３＝必要不可欠
方向性・・・・・１＝廃止・休止　２＝縮小　３＝統合　４＝継続　５＝拡大

<table>
<tr><td colspan="2">25　少子化対策・子育て支援事業</td><td colspan="2">主 管 課</td><td colspan="2">生涯学習課</td></tr>
<tr><td rowspan="2">決算額</td><td rowspan="2">1,606 千円</td><td>有効性</td><td>費用対効果</td><td>必要性</td><td>方向性</td></tr>
<tr><td>2</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td></tr>
<tr><td>活 動 内 容</td><td colspan="5">保育園・幼稚園・小学校・中学校が実施した「家庭教育講座」等の実施に対して経費の支援をした。
講座内容は、親や祖父母、園児・児童・教職員を対象に、「親子のふれあい・命の授業・絵本・情操教育等」のほか各課題に沿った内容で開催した。
また、北秋田市子ども会育成連合会に補助金を交付し、子ども会事業の体験活動などを通して、ふるさとを愛する心の醸成に努めた。</td></tr>
<tr><td>点検・評価</td><td colspan="5">幼・保で６講座、小学校で９講座、中学校１講座で計１６の「家庭教育講座」が実施された。少子化に伴い家庭教育の重要性を認識し、今後中学校での家庭教育講座開催が増えるよう努めていきたい。
また、北秋田市子ども会育成連合会では、自然体験活動など子どもたちの交流や親子参加型の事業を推進しており、地域で子どもを育てる活動の支援を継続していきたい。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="2">26　（仮称）生涯学習交流施設建設事業</td><td colspan="2">主 管 課</td><td colspan="2">生涯学習課</td></tr>
<tr><td rowspan="2">決算額</td><td rowspan="2">222,882 千円</td><td>有効性</td><td>費用対効果</td><td>必要性</td><td>方向性</td></tr>
<tr><td>2</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td></tr>
<tr><td>活 動 内 容</td><td colspan="5">中央公民館の老朽化に伴い、憩い、交流・賑わいをコンセプトに（仮称）生涯学習交流施設の建設に着手している。
中心市街地の活性化を図る拠点施設として、利活用検討委員会や市民ワークショップなど市民の意見や提言を取り入れ、利活用の協議を進めている。</td></tr>
<tr><td>点検・評価</td><td colspan="5">（仮称）生涯学習交流施設利活用検討委員会は、先進地視察を含め８回の会議を開催し、施設の利活用について報告書を提出した。
市民と協働で中心市街地の賑わい創出を図るため、市民ワークショップによる、意見や提言を集約し施設運営の方策を検討している。</td></tr>
</table>

有効性・・・・・１＝期待以下の成果　２＝期待どおりの成果　３＝期待以上の成果
費用対効果・・・１＝課題あり　２＝予定どおりの費用対効果　３＝予想以上の費用対効果
必要性・・・・・１＝必要性が低い　２＝必要性が高い　３＝必要不可欠
方向性・・・・・１＝廃止・休止　２＝縮小　３＝統合　４＝継続　５＝拡大

<table>
<tr><td colspan="6">27　高齢者教育事業</td><td>主 管 課</td><td colspan="2">生涯学習課</td></tr>
<tr><td rowspan="2">決算額</td><td rowspan="2">698 千円</td><td>有効性</td><td>費用対効果</td><td>必要性</td><td>方向性</td></tr>
<tr><td>2</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td></tr>
<tr><td>活 動 内 容</td><td colspan="7">市内４地区（鷹巣・合川・森吉・阿仁）で、高齢者の学びの機会を充実させ、いきがいづくりや仲間づくりなど地域の活性化に努めた。
・入学、開講式・全体講座・移動研修・卒業・閉講式
・クラブ活動や学園祭（鷹巣地区のみ）などの活動が行われ学習意欲を高めた。</td></tr>
<tr><td>点検・評価</td><td colspan="7">各高齢者大学では、移動研修、クラブ活動などを通して、楽しみながら学びや交流の輪が広がった。
学んだ成果の発表や交流の場は、新たな生きがいにつながり、その成果をさらに地域のボランティア活動に生かしていただくよう推進に努めた。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="6">28　婦人学級開設事業</td><td>主 管 課</td><td colspan="2">生涯学習課</td></tr>
<tr><td rowspan="2">決算額</td><td rowspan="2">60 千円</td><td>有効性</td><td>費用対効果</td><td>必要性</td><td>方向性</td></tr>
<tr><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>4</td></tr>
<tr><td>活 動 内 容</td><td colspan="7">地域のよりよい環境づくりや各行事の参画、青少年の育成など、活動する婦人団体へ学習支援・援助に努めた。</td></tr>
<tr><td>点検・評価</td><td colspan="7">鷹巣地区の１７婦人学級のうち、５学級で８学習会を開催した。内容は、料理教室のほか、軽スポーツ、手芸等の学習会を開催した。
高齢化による会員減などにより、学習会開催が少なくなってきたことが課題となっているが、地域及び会員の交流の場として継続支援していきたい。</td></tr>
</table>

有効性・・・・・１＝期待以下の成果　２＝期待どおりの成果　３＝期待以上の成果
費用対効果・・・１＝課題あり　２＝予定どおりの費用対効果　３＝予想以上の費用対効果
必要性・・・・・１＝必要性が低い　２＝必要性が高い　３＝必要不可欠
方向性・・・・・１＝廃止・休止　２＝縮小　３＝統合　４＝継続　５＝拡大

29　新成人事業			主 管 課	生涯学習課	
決算額	694 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活 動 内 容	成人式は市内在住者及び市内中学校を卒業した者を対象とし、記念式典、記念講演、記念写真撮影を行い、新成人をお祝いした。 事前に新成人の実行委員会を組織し、受付など成人者が自ら運営に参加している。				
点検・評価	新成人をお祝いし激励する式典を行い、新成人が郷土の良さを見直すきっかけづくりに努めた。 成人者が積極的に成人式の準備にかかわるよう呼びかけ、若者の交流の機会にもなるよう努めた。				

30　日本語教室開催事業			主 管 課	生涯学習課	
決算額	397 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活 動 内 容	外国から嫁いだお嫁さんなどを対象に、日本語及び日本文化の習得のためのサポートに努めた。				
点検・評価	定住に必要不可欠な日本語の実践能力を向上させる目的で、参加者のレベルに合わせ３コースを設定し、講師と指導ボランティアが細かな指導を行っている。生涯学習事業や地域事業など積極的に参加をしている。				

31　公民館を中心とした社会教育活性化支援事業			主 管 課	生涯学習課	
決算額	940 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	2	4
活 動 内 容	Ｇちゃんサミットや市民ワークショップなど、地域における様々な課題に対し、地域独自の取り組みをとおして、地域の絆やコミュニティの再生及び地域活性化の取り組みした。				
点検・評価	市民の自ら学ぶ姿勢と、学んだことを活かしていく「新たな生きがい」づくりへ発展してきた。				

有効性・・・・・１＝期待以下の成果　２＝期待どおりの成果　３＝期待以上の成果
費用対効果・・・１＝課題あり　２＝予定どおりの費用対効果　３＝予想以上の費用対効果
必要性・・・・・１＝必要性が低い　２＝必要性が高い　３＝必要不可欠
方向性・・・・・１＝廃止・休止　２＝縮小　３＝統合　４＝継続　５＝拡大

32　子どもふるさと交流支援事業			主 管 課	生涯学習課	
決算額	431 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	2	4
活 動 内 容	合川中学生 23 人が東京都国立市を訪問し、合川地区の伝統行事「まと火」を通して交流を図った。				
点検・評価	合川まと火の実演と国立市民、地元中学生との交流を通し、ボランティア活動や自分たちのふるさとの大切さを学ぶ機会となった。				

33　公民館講座開設事業			主 管 課	生涯学習課	
決算額	4,706 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	2	4
活 動 内 容	趣味・教養・課題解決のための講座など、市民の学びの機会として充実に努めた。また、学んだことを生かして地域活動に生かし、より良い地域づくりへの参加啓蒙に努めた。				
点検・評価	各公民館で講座が実施され、身につけた知識や技術を「生涯学習フェスタ」、「文化交流のつどい」等で発表するなど、順調に学びの成果がみられた。 今後も、自主サークルの活動や学校支援地域本部事業への参加、ボランティア活動などにつながるよう支援に努める。				

34　花いっぱい運動推進事業			主 管 課	生涯学習課	
決算額	410 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活 動 内 容	花いっぱい運動推進協会が推進する、北秋田市花だんコンクールの開催、花の種子の各団体への配布、花だんづくりの講習会の開催など、市の環境美化運動の支援に努めた。				
点検・評価	「花だんコンクール」には自治会、婦人会や高齢者グループなど、７個人、１６団体、計２３件の応募があった。 参加団体数は横ばいであるが、花を育てることや環境美化運動により心を豊かにする活動として、市内全域での取り組みを呼びかけていきたい。				

有効性・・・・・１＝期待以下の成果　２＝期待どおりの成果　３＝期待以上の成果
費用対効果・・・１＝課題あり　２＝予定どおりの費用対効果　３＝予想以上の費用対効果
必要性・・・・・１＝必要性が低い　２＝必要性が高い　３＝必要不可欠
方向性・・・・・１＝廃止・休止　２＝縮小　３＝統合　４＝継続　５＝拡大

35　農林業振興センター（鷹巣地区公民館）管理事業			主 管 課	生涯学習課	
決算額	17,408 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	2	4
活 動 内 容	公民館施設整備の維持管理に努め、施設利用者の利便性向上を図った。				
点検・評価	各公民館施設の老朽化が顕著のため、施設整備を年次計画で実施していかなければならない。				

36　陶芸ハウス管理事業			主 管 課	生涯学習課	
決算額	171 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		1	1	2	4
活 動 内 容	陶芸ハウス利用の充実を図るため維持管理を実施した。				
点検・評価	陶芸教室など市民が気軽に参加できる講座の企画を検討していきたい。 鷹巣、森吉など陶芸窯の更新時期に来ており、市の陶芸施設計画の検討が必要となっている。				

37　あいターミナル管理運営事業			主 管 課	生涯学習課	
決算額	1,267 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		1	1	2	4
活 動 内 容	合川公民館で管理運営、現在「くまげらネット」の協力で、パソコン講座を実施し施設の活用を図っている。				
点検・評価	施設の利用について、パソコン講座以外に利用がないので商工観光担当など他の部署と連携し、建物全体の活用の検討が必要である。				

有効性・・・・・１＝期待以下の成果　２＝期待どおりの成果　３＝期待以上の成果
費用対効果・・・１＝課題あり　２＝予定どおりの費用対効果　３＝予想以上の費用対効果
必要性・・・・・１＝必要性が低い　２＝必要性が高い　３＝必要不可欠
方向性・・・・・１＝廃止・休止　２＝縮小　３＝統合　４＝継続　５＝拡大

38　農村環境改善センター（合川公民館）管理事業			主 管 課	生涯学習課	
決算額	8,769 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活 動 内 容	合川公民館施設の整備充実と、定期講座の開催など学びの機会拡充を図った。 ＜漏水修理・高所照明取替え他　254,837 円＞				
点検・評価	陸上オイルタンクの設置や非常照明器具等の修繕を行い、利用者の安全確保と施設の環境が整備された。				

39　コミュニティセンター（森吉公民館）管理事業			主 管 課	生涯学習課	
決算額	17,519 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活 動 内 容	森吉公民館施設整備の充実と、定期講座の開催など学びの機会拡充を図った。				
点検・評価	施設利用者の安全確保と施設の環境整備の充実を図った。				

40　ふるさと文化センター（阿仁公民館）管理事業			主 管 課	生涯学習課	
決算額	11,269 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活 動 内 容	阿仁公民館施設整備の充実と、定期講座の開催など学びの機会拡充を図った。				
点検・評価	適切な維持管理により、利用者の安全確保と施設の環境が整備された。				

41　交流センター管理事業			主 管 課	生涯学習課	
決算額	16,305 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	2	4
活 動 内 容	市民の交流や活動の拠点施設として活用され、管理委託・清掃委託及び各種保守点検委託による維持管理を実施した。				
点検・評価	施設利用については、市外からの利用もあり、地域活動の拠点として活用されている。建物の老朽化が進んでおり、緊急性の高いものから順に修繕等を実施している。				

有効性・・・・・１＝期待以下の成果　２＝期待どおりの成果　３＝期待以上の成果

費用対効果・・・１＝課題あり　２＝予定どおりの費用対効果　３＝予想以上の費用対効果

必要性・・・・・１＝必要性が低い　２＝必要性が高い　３＝必要不可欠

方向性・・・・・１＝廃止・休止　２＝縮小　３＝統合　４＝継続　５＝拡大

42　図書館事業			主 管 課	生涯学習課	
決算額	15,066 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活 動 内 容	市民の学習施設として、図書の充実と施設の維持管理に努め、運営については、鷹巣図書館で試行的に開館時間の時間延長を実施し、利用者の利便性やサービスの向上に努めている。				
点検・評価	図書館・図書室等と県立図書館など相互協力を図り、住民の学習や必要な情報提供に努めるなど、利用の促進を図った。鷹巣図書館では開館の時間延長を試行中あり、利用者の利便性の向上に努めた。 鷹巣図書館のボランティア「たまてばこ」が毎月１回のペースで子供たちに読み聞かせ会を実施し、低学年の読書活動の向上に努めた。 図書館のネットワーク化により連携と迅速で正確な管理運営ができ、図書資料について、図書館協議会や利用者から意見をもらい充実に努めた。 今後も県立図書館の指導を受けながら、ＰＲ活動や利用者サービスを十分考慮した図書館運営に努める。				

43　学童保育施設整備事業			主 管 課	生涯学習課	
決算額	76,535 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活 動 内 容	合川地区の小学校の統合により、合川小放課後児童クラブを建設した。				
点検・評価	学童保育の充実と保護者にも安全・安心な環境が確保された。				

有効性・・・・・１＝期待以下の成果　２＝期待どおりの成果　３＝期待以上の成果
費用対効果・・・１＝課題あり　２＝予定どおりの費用対効果　３＝予想以上の費用対効果
必要性・・・・・１＝必要性が低い　２＝必要性が高い　３＝必要不可欠
方向性・・・・・１＝廃止・休止　２＝縮小　３＝統合　４＝継続　５＝拡大

<table>
<tr><td colspan="2">44　放課後児童健全育成事業</td><td colspan="2">主 管 課</td><td colspan="2">生涯学習課</td></tr>
<tr><td rowspan="2">決算額</td><td rowspan="2">62,633 千円</td><td>有効性</td><td>費用対効果</td><td>必要性</td><td>方向性</td></tr>
<tr><td>2</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td></tr>
<tr><td>活 動 内 容</td><td colspan="5">学童保育事業、１４児童クラブ実施（うち５クラブ社会福祉協議会に運営委託）。
鷹巣小児童クラブ、鷹巣東小児童クラブ、鷹巣西小児童クラブ、綴子小児童クラブ、鷹巣中央小児童クラブ、鷹巣南小児童クラブ、合川東児童クラブ、合川児童クラブ、合川北児童クラブ、米内沢児童クラブ、うらやま児童クラブ、前田児童クラブ、阿仁合児童クラブ、大阿仁児童クラブ。</td></tr>
<tr><td>点検・評価</td><td colspan="5">鷹巣地区６クラブ、合川３クラブ、森吉３クラブ、阿仁２クラブ、計14か所に開設。登録児童数は５３９人となっている。
就労家庭への支援事業である学童保育は、児童が安心して集え異年齢児との交流や、放課後子ども教室との連携により児童の健全育成が推進された。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="2">45　放課後子ども教室推進事業</td><td colspan="2">主 管 課</td><td colspan="2">生涯学習課</td></tr>
<tr><td rowspan="2">決算額</td><td rowspan="2">4,765 千円</td><td>有効性</td><td>費用対効果</td><td>必要性</td><td>方向性</td></tr>
<tr><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>4</td></tr>
<tr><td>活 動 内 容</td><td colspan="5">放課後子ども教室推進事業　１３教室実施。
いきいきタイム（鷹巣、栄、綴子、沢口、七日市、西部、合川東、合川、合川北、米内沢、前田、阿仁合、大阿仁）延べ参加人数　１６，４８４人
子どもたちの体験事業を実施し「ふるさと教育」の推進を図った。</td></tr>
<tr><td>点検・評価</td><td colspan="5">児童クラブ、児童館との連携が深まり、子どもたちが参加しやすい環境ができ体験活動の充実が図られた。</td></tr>
</table>

有効性・・・・・１＝期待以下の成果　２＝期待どおりの成果　３＝期待以上の成果
費用対効果・・・１＝課題あり　２＝予定どおりの費用対効果　３＝予想以上の費用対効果
必要性・・・・・１＝必要性が低い　２＝必要性が高い　３＝必要不可欠
方向性・・・・・１＝廃止・休止　２＝縮小　３＝統合　４＝継続　５＝拡大

46　学校支援地域本部事業			主 管 課	生涯学習課	
決算額	3,255 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活 動 内 容	市内全校を対象に地域で学校を支援する活動を実施した。 学校の要望にあわせ、地域の人材を活用し、環境の整備、学習支援、クラブ活動の支援、体験活動や地域探検など、様々な分野で支援と活動を行うことができた。				
点検・評価	学校と地域が協力・連携することで、学校行事等へ支援や参加協力ができた。 環境整備、登下校時の安全確保、育林活動、伝承芸能、ふるさと学習、読み聞かせ活動等、様々な学校の活動を支援した。 地域と学校との連携がより強化され、地域の持っている知恵や経験を子どもたちに活かすことで、地域の人たちの新たな生きがいづくりにもつながり、学校と地域の双方の相乗効果が現れた。				

47　青少年育成事業			主 管 課	生涯学習課	
決算額	952 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活 動 内 容	青少年育成北秋田市民会議、少年保護育成委員会の活動は、地域での非行防止活動を実施している。 青少年問題協議会では、現代的な課題として少年事件やネット被害の問題について研修し、各団体で問題意識を共有した。 防災キャンプについては、米内沢小学校と綴子小学校で実施した。				
点検・評価	青少年の健全育成を推進するため、共通の課題解決に向けて情報を共有し、青少年問題や非行防止の取り組みを連携し効果を上げている。 防災キャンプは、学校と地域の連携を実体験しながら災害時の行動を確認した。				

有効性・・・・・１＝期待以下の成果　２＝期待どおりの成果　３＝期待以上の成果
費用対効果・・・１＝課題あり　２＝予定どおりの費用対効果　３＝予想以上の費用対効果
必要性・・・・・１＝必要性が低い　２＝必要性が高い　３＝必要不可欠
方向性・・・・・１＝廃止・休止　２＝縮小　３＝統合　４＝継続　５＝拡大

48　文化会館管理事業			主 管 課	生涯学習課	
決算額	41,195 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活 動 内 容	市民が芸術文化の活動に参加できるよう、施設の維持管理の充実を図った。 また自主事業等の実施で、優れた芸術文化作品に触れる機会の提供を図った。				
点検・評価	適切な維持管理や保守点検等を行うことにより、市民の方々が安心して利用できる施設や設備を維持できた。 自主公演事業では、音楽公演やシネマ鑑賞、民謡など、より親しめる内容で集客に努めた。 また、市の文化祭の開催や市内外の芸術活動の発表の場として活用され、芸術文化の振興が図られた。				

49　文化会館改修事業			主 管 課	生涯学習課	
決算額	53,103 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活 動 内 容	施設の安全性確保のための整備を実施した。				
点検・評価	施設・設備の改修を行うことにより、市民がより安心して芸術文化に触れ楽しんでもらうための安全性の向上に努めた。				

50　みちのく子ども風土記館管理事業			主 管 課	生涯学習課	
決算額	591 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活 動 内 容	直木賞作家の渡辺喜恵子氏の顕彰館であり、市民の交流活動の拠点として利用されている。施設の維持管理を実施し、利用の向上に努めた。				
点検・評価	各団体の活動の場として多く利用され、芸術文化活動の拠点となっている。より多くの市民や団体に利用してもらうよう、ＰＲを図っていきたい。				

有効性・・・・・１＝期待以下の成果　２＝期待どおりの成果　３＝期待以上の成果
費用対効果・・・１＝課題あり　２＝予定どおりの費用対効果　３＝予想以上の費用対効果
必要性・・・・・１＝必要性が低い　２＝必要性が高い　３＝必要不可欠
方向性・・・・・１＝廃止・休止　２＝縮小　３＝統合　４＝継続　５＝拡大

51　浜辺の歌音楽祭開催事業			主 管 課	生涯学習課	
決算額	335 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活 動 内 容	成田為三先生の功績の顕彰と作品を後世に引継いでいくため、幼時から児童生徒、一般の合唱団を対象とした音楽祭を毎年開催している。 参加団体：２２団体				
点検・評価	成田為三先生の作品に触れ、合唱発表の場を設けることで市民相互の音楽活動の資質向上が図られた。				

52　浜辺の歌音楽館運営事業			主 管 課	生涯学習課	
決算額	10,413 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活 動 内 容	成田為三先生の業績や作品を音楽博物館として顕彰し、後世に引き継いでいる。				
点検・評価	第８８回定期演奏会では、早川泰子氏のジャズコンサートを実施し、入館者からも好評であった。 成田為三先生の音楽に触れる機会と、関連した資料の充実に努める。				

53　文化祭開催事業			主 管 課	生涯学習課	
決算額	2,000 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活 動 内 容	北秋田市の芸術文化の祭典として、展示部門と演示部門を実施し、運営については文化祭実行委員会に運営費を補助している。				
点検・評価	演示部門・展示部門で出演・出展団体同士の相互の連携により、文化活動の活性化と振興が図られた。				

有効性・・・・・１＝期待以下の成果　２＝期待どおりの成果　３＝期待以上の成果
費用対効果・・・１＝課題あり　２＝予定どおりの費用対効果　３＝予想以上の費用対効果
必要性・・・・・１＝必要性が低い　２＝必要性が高い　３＝必要不可欠
方向性・・・・・１＝廃止・休止　２＝縮小　３＝統合　４＝継続　５＝拡大

54　根子番楽伝承館トイレ設置工事事業			主 管 課	生涯学習課	
決算額	7,141 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	2	1
活 動 内 容	伝承館トイレの改修工事を行うことで、伝承活動の支援と鑑賞者の利便性の向上を図った。				
点検・評価	伝承活動の向上に努め、トイレを新しく設置することで利用者への改善が図られた。				

55　史跡伊勢堂岱遺跡環境整備事業			主 管 課	生涯学習課	
決算額	388,127 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活 動 内 容	平成２３年度～２７年度までの５ヵ年事業で、遺跡の見学環境整備とガイダンス施設建設を実施し、世界遺産登録に向けた準備を進めた。 ①環状列石保存処理委託　②ガイダンス施設工事監理委託 ③橋梁設計業務委託　④ガイダンス施設新築工事 ⑤駐車場等外構工事 ⑥見学環境整備工事（遺跡看板設置工事）				
点検・評価	遺跡及びその周辺の環境整備を行うことにより、見学者の利便性が向上し、世界遺産登録に向けた取り組みに弾みがついた。				

56　胡桃館遺跡埋蔵資料館管理事業			主 管 課	生涯学習課	
決算額	2,134 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活 動 内 容	国指定文化財である胡桃館遺跡出土遺材の保存・保護に努めた。 また、遺跡の範囲を確認するための分析調査を実施した。				
点検・評価	出土遺材保存管理を行うことで、遺材の劣化を防ぐことができた。 分析調査は５地点で実施したが、遺跡範囲を裏付ける成果は無かった。				

有効性・・・・・１＝期待以下の成果　２＝期待どおりの成果　３＝期待以上の成果
費用対効果・・・１＝課題あり　２＝予定どおりの費用対効果　３＝予想以上の費用対効果
必要性・・・・・１＝必要性が低い　２＝必要性が高い　３＝必要不可欠
方向性・・・・・１＝廃止・休止　２＝縮小　３＝統合　４＝継続　５＝拡大

57　伊勢堂岱遺跡世界遺産登録推進事業			主 管 課	生涯学習課	
決算額	461 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活 動 内 容	北海道・北東北縄文遺跡群の世界遺産登録を目指し、パンフレット作成、フォーラムの開催、ＰＲ活動など情報発信の推進に努めた。 ①世界遺産登録推薦書作成事業負担金　87,000 円				
点検・評価	世界遺産登録に向けた推進事業の経費を負担することにより、事業の円滑な執行を図り、遺跡の価値や情報の発信に努めた。				

58　文化財保護事業			主 管 課	生涯学習課	
決算額	2,308 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活 動 内 容	文化財保護審議会委員による貴重な文化財の保護に対する意見集約を行った。また、文化財保護に係る維持管理や修繕に努めた。				
点検・評価	文化財保護審議会の開催や文化財の金家、長岐邸、根子番楽伝承館等の維持管理を行うことで、文化財の保護と見学などの活用が図られた。				

59　縄文まつり開催事業			主 管 課	生涯学習課	
決算額	300 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	2	5
活 動 内 容	第１４回縄文まつりを開催し、伊勢堂岱遺跡などの情報発信と各種の体験事業や参加者の交流を行った。 体験事業:①勾玉づくり　②火おこし　③土器づくり　④縄文記念写真　⑤的当て　⑥縄文料理				
点検・評価	より多くの人に縄文文化に親しんでもらうとともに、遺跡の理解と参加者の交流や伊勢堂岱遺跡の世界遺産登録に向けた機運を高めることができた。				

有効性・・・・・１＝期待以下の成果　２＝期待どおりの成果　３＝期待以上の成果
費用対効果・・・１＝課題あり　２＝予定どおりの費用対効果　３＝予想以上の費用対効果
必要性・・・・・１＝必要性が低い　２＝必要性が高い　３＝必要不可欠
方向性・・・・・１＝廃止・休止　２＝縮小　３＝統合　４＝継続　５＝拡大

<table>
<tr><td colspan="2">60　北秋田市民俗芸能大会事業</td><td colspan="2">主 管 課</td><td colspan="2">生涯学習課</td></tr>
<tr><td rowspan="2">決算額</td><td rowspan="2">425 千円</td><td>有効性</td><td>費用対効果</td><td>必要性</td><td>方向性</td></tr>
<tr><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>4</td></tr>
<tr><td>活 動 内 容</td><td colspan="5">北秋田市に伝承されている民俗芸能等を広く市民に公開するとともに、民俗芸能伝承活動とあわせて技量の向上に努めた。
出演団体：①森吉山麓火まつり太鼓
②婦団連たかのすふるさと太鼓
③阿仁前田獅子踊
④福田獅子舞
⑤綴子下町大太鼓</td></tr>
<tr><td>点検・評価</td><td colspan="5">民俗芸能団体へ発表の場を提供することにより、民俗芸能伝承の振興を図り貴重な民俗芸能の保存・伝承活動の支援が図られた。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="2">61　合川野球場スコアボード判定表示板改修工事事業</td><td colspan="2">主 管 課</td><td colspan="2">スポーツ振興課</td></tr>
<tr><td rowspan="2">決算額</td><td rowspan="2">4,720 千円</td><td>有効性</td><td>費用対効果</td><td>必要性</td><td>方向性</td></tr>
<tr><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>1</td></tr>
<tr><td>活 動 内 容</td><td colspan="5">スコアボードのカウント表示を現行ルールに則した表示への改修工事の実施により、利用環境の向上を図る。</td></tr>
<tr><td>点検・評価</td><td colspan="5">スコアボードのカウント表示をＳＢＯからＢＳＯへの変更と、操作盤の取替、表示電球のＬＥＤ化の改修工事を行った。
現行ルールに即したカウント表示になったことにより利用環境が改善された。
同工事は平成２６年度単年度で終了。</td></tr>
</table>

有効性・・・・・１＝期待以下の成果　２＝期待どおりの成果　３＝期待以上の成果
費用対効果・・・１＝課題あり　２＝予定どおりの費用対効果　３＝予想以上の費用対効果
必要性・・・・・１＝必要性が低い　２＝必要性が高い　３＝必要不可欠
方向性・・・・・１＝廃止・休止　２＝縮小　３＝統合　４＝継続　５＝拡大

<table>
<tr><td colspan="6">62　鷹巣陸上競技場管理棟・観覧席改修工事事業</td><td>主 管 課</td><td colspan="2">スポーツ振興課</td></tr>
<tr><td rowspan="2">決算額</td><td rowspan="2">55,210 千円</td><td>有効性</td><td>費用対効果</td><td>必要性</td><td>方向性</td></tr>
<tr><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>1</td></tr>
<tr><td>活 動 内 容</td><td colspan="8">老朽化した管理棟･観覧席の改修工事により利用者の安全性と利便性を図り、施設利用拡大に繋げる。</td></tr>
<tr><td>点検・評価</td><td colspan="8">管理棟の観覧席撤去及び防水工事、外壁外装改修工事を施したこと、老朽化による危険箇所の改善により、利用者の安全性が確保された。
また、トイレの水洗化工事を行い利用者の利便性も向上したため、今後は各種大会での利用機会の増加が期待できる。
同工事は平成２６年度単年度で終了。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="6">63　鷹巣陸上競技場トラック改修工事事業</td><td>主 管 課</td><td colspan="2">スポーツ振興課</td></tr>
<tr><td rowspan="2">決算額</td><td rowspan="2">175,272 千円</td><td>有効性</td><td>費用対効果</td><td>必要性</td><td>方向性</td></tr>
<tr><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>1</td></tr>
<tr><td>活 動 内 容</td><td colspan="8">全天候型トラックの全面改修により、表層部の剥離による膨れを解消し、利用者の安全性確保と施設利用拡大に繋げる。</td></tr>
<tr><td>点検・評価</td><td colspan="8">走路を合成ゴムシート工法からウレタン舗装工法で路盤から全面改修したことにより表層部の膨れによる危険箇所が解消され、これまでの４種公認から３種公認競技場に昇格し、全県大会レベルの公認大会を開催できるようになったことで利用者拡大が期待できる。
同工事は平成２６年度単年度で終了。</td></tr>
</table>

有効性・・・・・１＝期待以下の成果　２＝期待どおりの成果　３＝期待以上の成果
費用対効果・・・１＝課題あり　２＝予定どおりの費用対効果　３＝予想以上の費用対効果
必要性・・・・・１＝必要性が低い　２＝必要性が高い　３＝必要不可欠
方向性・・・・・１＝廃止・休止　２＝縮小　３＝統合　４＝継続　５＝拡大

64　鷹巣体育館非常照明用直流電源装置取替修繕事業			主 管 課	スポーツ振興課	
決算額	5,173 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	2	1
活 動 内 容	非常照明の電源確保による利用者の安全性を確保する。				
点検・評価	蓄電池による電源別置方式による非常照明から個別電源内蔵照明器具に変更。 既存の電源別置方式の蓄電池の対応年数が約５年に対して、新設の電源内蔵照明器具の対応年数は約１０年であり、更に個別交換が可能なことからコストの削減が図られる。 同工事は平成２６年度単年度で終了。				

65　北秋田市民プール指定管理事業			主 管 課	スポーツ振興課	
決算額	18,000 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活 動 内 容	指定管理制度による公の施設の管理運営事業。 平成２６年度が指定管理期間の最終年度のため、平成２７年度から平成３１年度までの５年間の指定管理者を新たに選定した。				
点検・評価	施設利用人数は目標数50,000人に対して45,704人（評価点9.1点）、教室運営回数目標数1,632回に対して1,632回（評価点10点）、教室参加人数目標値11,000人に対して12,048人（評価点11点）で、管理の目標に対する評価点ではＡ判定で目標達成に向け努力が評価できる。 今後も指定管理制度で管理運営していくが、開設から１０年経過し施設修繕、機器の更新が見込まれる。				

有効性・・・・・１＝期待以下の成果　２＝期待どおりの成果　３＝期待以上の成果
費用対効果・・・１＝課題あり　２＝予定どおりの費用対効果　３＝予想以上の費用対効果
必要性・・・・・１＝必要性が低い　２＝必要性が高い　３＝必要不可欠
方向性・・・・・１＝廃止・休止　２＝縮小　３＝統合　４＝継続　５＝拡大

66　薬師山スキー場指定管理事業			主 管 課	スポーツ振興課	
決算額	3,500 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活 動 内 容	指定管理制度による公の施設の管理運営事業。 平成２６年度が指定管理期間の最終年度のため、平成２７年度から平成３１年度までの５年間の指定管理者を新たに選定した。				
点検・評価	平成２６年度は雪の降り始めが早く１２月１９日から３月１５日までの８７日間の営業で、14,526人の利用があった。 バイアスロン大会の開催や、市内外の小学校にスキー教室での利用を呼びかけている等、利用者増加への努力が評価できる。 今後も、指定管理制度で地域自治会が運営することで、地域の活性化や地域コミュニティの醸成が期待できる。 しかし、圧雪車などの大型機械やナイター設備等の経年劣化による更新が課題となる。				

67　北秋田市体育協会補助金事業			主 管 課	スポーツ振興課	
決算額	1,000 千円	有効性	費用対効果	必要性	方向性
		2	2	3	4
活 動 内 容	北秋田市体育協会の円滑な活動・運営のため補助金を交付し、スポーツの振興を図る。				
点検・評価	北秋田市体育協会に加盟する２３団体への強化普及・育成支援により、地域スポーツの活性化が図られた。 また、北秋田市スポーツレクリエーション大会、北秋田市スポーツ賞表彰式を主催し、北秋田市のスポーツ振興を図るうえで重要な役割を果たした。 さらには、大会運営及び国体出場選手への支援により、スポーツの振興に寄与している。 北秋田市のスポーツ振興を推進するうえで、北秋田市体育協会との連携は必要不可欠であり、今後も事業の継続が必要である。				

有効性・・・・・１＝期待以下の成果　２＝期待どおりの成果　３＝期待以上の成果
費用対効果・・・１＝課題あり　２＝予定どおりの費用対効果　３＝予想以上の費用対効果
必要性・・・・・１＝必要性が低い　２＝必要性が高い　３＝必要不可欠
方向性・・・・・１＝廃止・休止　２＝縮小　３＝統合　４＝継続　５＝拡大

<table>
<tr><td colspan="2">68　北秋田市スキー大会補助金事業</td><td colspan="2">主 管 課</td><td colspan="2">スポーツ振興課</td></tr>
<tr><td rowspan="2">決算額</td><td rowspan="2">1,900 千円</td><td>有効性</td><td>費用対効果</td><td>必要性</td><td>方向性</td></tr>
<tr><td>2</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td></tr>
<tr><td>活 動 内 容</td><td colspan="5">北秋田市スキー大会実行委員会が実施するスキー大会開催のため補助金を交付し、事業の円滑な運営と雪国の特性を活かしたスポーツ活動の推進を図る。</td></tr>
<tr><td>点検・評価</td><td colspan="5">第67回大館・北秋田中学校スキー大会（19人）、第60回北秋田学童スキー大会（128人）、第８回北秋田市民スキー大会（183人）、第50回大館・北秋田スキー米内沢大会（33人）を開催し、スポーツの振興及び青少年の健全育成が図られた。
人口減少に伴い参加人数は減少傾向にあるが、スキー大会は運動不足がちになる冬期間においてのスポーツ活動に大きく寄与している。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="2">69　１００キロチャレンジマラソン大会補助金事業</td><td colspan="2">主 管 課</td><td colspan="2">スポーツ振興課</td></tr>
<tr><td rowspan="2">決算額</td><td rowspan="2">3,000 千円</td><td>有効性</td><td>費用対効果</td><td>必要性</td><td>方向性</td></tr>
<tr><td>2</td><td>2</td><td>2</td><td>4</td></tr>
<tr><td>活 動 内 容</td><td colspan="5">大会運営のため補助金を交付し、円滑な大会運営と参加者の交流及び地域の活性化を図る。</td></tr>
<tr><td>点検・評価</td><td colspan="5">第24回大会は、県内外から100キロの部に1,210人、50キロの部に393人合計1,603人のランナーが参加し、秋田県を始め、仙北市、北秋田市、上小阿仁村、自衛隊、消防、企業、ボランティア（約2,800人）の協力により実施され、成功裡に終了した。
地域のイベントとして定着しており、経済効果とともに参加ランナー及び地域住民の交流と地域の活性化が図られた。
今後も事業を継続をするためには、大会事務局の組織強化と大会継続に向けた知恵を出していくことが必要である。</td></tr>
</table>

有効性・・・・・１＝期待以下の成果　２＝期待どおりの成果　３＝期待以上の成果
費用対効果・・・１＝課題あり　２＝予定どおりの費用対効果　３＝予想以上の費用対効果
必要性・・・・・１＝必要性が低い　２＝必要性が高い　３＝必要不可欠
方向性・・・・・１＝廃止・休止　２＝縮小　３＝統合　４＝継続　５＝拡大

<table>
<tr><td colspan="2">70　児童大会派遣費補助金事業</td><td colspan="2">主 管 課</td><td colspan="2">スポーツ振興課</td></tr>
<tr><td rowspan="2">決算額</td><td rowspan="2">1,212 千円</td><td>有効性</td><td>費用対効果</td><td>必要性</td><td>方向性</td></tr>
<tr><td>2</td><td>2</td><td>3</td><td>5</td></tr>
<tr><td>活 動 内 容</td><td colspan="5">全県大会以上の大会派遣費を補助する事により、スポーツ少年団活動を助長し、子どもたちの心身の健全な育成及びスポーツ活動の底辺拡大と振興を図る。</td></tr>
<tr><td>点検・評価</td><td colspan="5">全県大会出場が６競技３５単位団、東北大会出場が１競技１単位団、全国大会出場が１競技１単位団に対して参加費・交通費・宿泊費の一部を補助した。
上位大会出場という目標を持って、スポーツ少年団活動に取り組んでおり、目標達成のためには本事業は有効である。
補助事業者をスポーツ少年団に限定しているが、スポーツ団体のジュニアクラブなど活動が多様化してきており、補助事業の対象者の再検討が必要となる。</td></tr>
</table>

有効性・・・・・１＝期待以下の成果　２＝期待どおりの成果　３＝期待以上の成果
費用対効果・・・１＝課題あり　２＝予定どおりの費用対効果　３＝予想以上の費用対効果
必要性・・・・・１＝必要性が低い　２＝必要性が高い　３＝必要不可欠
方向性・・・・・１＝廃止・休止　２＝縮小　３＝統合　４＝継続　５＝拡大